

わたしの修習時代

紀尾井町：1948－70

湯島：1971－93

和光：1994－

70期(2016/平成28年)

同期あれこれ



会員 土肥 衆 (70期)

私の実務修習地は横浜（A班）だった。

70期A班の修習は、2016年12月に和光の司法研修所で導入修習があり、2017年1月から8月上旬まで実務修習、8月中旬から9月上旬にかけてふたたび研修所で集合修習、その後1か月半程の選択型修習・ホームグラウンド修習があり、11月に2回試験、というスケジュールだった。

実務修習中は横浜に住んでいたこともあり、今でも横浜に行くと、当時の自分や、同期、教官、指導担当、ロースクールの友人の顔が浮かび、懐かしい気持ちになる。

この記事を書くにあたり、修習時代を初めて意識的に振り返ったが、思い出すのはやはり同期、教官等の「人」との思い出である。

導入修習が始まった時、私は、有楽町線氷川台駅近くの実家に住んでおり、研修所の寮に入ることができなかったため、和光市駅から地下鉄成増駅まで電車で行き、駅からはバスに乗って研修所に通っていた。

導入修習は、漠然とした将来への期待と新しい環境に対する緊張感からか、あっという間に終わってしまい、正直なところあまり覚えていない。教官からは、「同期は一生の友人になる」等の教訓めいた話がよくあったように思うが、当時はあまり真に受けず、聞き流してしまっていたように思う。ただし、同期とは自然に仲を深めていったと記憶している。

私の実務修習は弁護修習から始まったが、弁護修習が始まる前日に、日本大通り駅近くのワンルームマンションに越した（今思うと、日本大通り駅、中華街、山下公園、横浜スタジアム等がすべて徒歩5分圏内と

いう抜群の立地だった）。

実務修習中は、自然と、同期と各修習中から今宵の飲み会についてLINEで相談し、修習を終えるや、そのまま飲み屋に直行するという流れになっていた。休日も、同期と飲みに行ったり、神奈川県（旧横浜）弁護士会サッカー部の練習に同期と参加したりと、気が付けば同期との交流を深めていた。

実務修習を終えたのと同時にワンルームマンションを引き払ったが、集合修習では、研修所のいずみ寮に入ることができた。集合修習中は、起案やグループワークが多く、導入修習や実務修習と比べると忙しかったように思うが、2回試験はB班の集合修習後ということもあり、緊張感がなく、修習後は、同期と、研修所のグラウンドでサッカーをしたり、寮の中で酒を飲んだりすることが多かった。

さて、70期は法曹として5年目（ほぼ満5年）の期である。私は、今、同期や教官と仕事をしている。毎週のように会う同期もいれば、月1くらいで会う同期もいる。各地（主に福岡）にいる同期にも年に数回会う。今年の夏には修習終了後久しぶりに会った同期とゴルフに行った。この記事を書く依頼を受けたのも、そんな同期からである。

5年経っても、修習時代を振り返ると、やはり同期や教官の顔が浮かんでしまう。今なら修習生に「同期は一生の友人になる」と教訓めいたことを言うかもしれない。

この場を借りて、教官と同期に感謝するとともに、この記事を見た同期には「また飲みに行こう」、「またゴルフに行こう」と誘わせていただく。